

〔表3〕 特許関係調査相談利用状況

区 分	調 査 相 談 件 数	利 用 者 数	複 写 件 数
特 許	30	80	40
実 用 新 案	30	60	30
意 匠	5	10	5
商 標	5	10	5
審 決	—	—	—
そ の 他	10	—	—
計	80	160	80

2 相互貸借

相互貸借は、従来「北日本図書館連盟図書館資料相互貸借規程」に基づいて行ってきたが、更に県内図書館との相互協力を活発にするため、「福島県立図書館における相互協力のための資料貸出要綱」を制定し、明年度から実施することにした。

また、福島県公共図書館協会でも、独自の相互協力規程の作成に着手し、検討が重ねられているので、県内の相互協力体制は、一段と充実強化されることになる。

本年度の利用状況は〔表4、5〕のとおりである。

〔表4〕 相互貸借件数

区 分	県 内	県 外	計
貸 出	81件	8件	89件
	230冊	14冊	244冊
借 用	2件	16件	18件
	2冊	34冊	36冊
計	83件	24件	107件
	232冊	48冊	280冊

〔表5〕 特別貸出状況

貸 出 先	件 数	冊 数
官 公 庁 関 係	80	310
図 書 館 そ の 他	27	106
会 社 ・ 事 業 所	19	61
報 道 機 関	24	66
学 校	28	98
一 般 利 用 者	57	207
計	235	848

3 館内閲覧

館内閲覧の大半は、公務による利用者、または学術・調査のための利用者であって、これまでの学習のための席借りは大幅に減少した。これは、県民が調査館としての県立図書館を理解してきたためであると思われる。

4 館外個人貸出

第二線図書館をめざしたことから、資料の収集も専門的なものが多くなり、軽い読み物を求める読者層は市立図書館へ流れ、当館利用者層に変化をもたらした。

本年度の個人貸出の実績は〔表6、7、8〕のとおりである。

〔表6〕 館外個人貸出利用者数

区 分	人 員	構 成 比
勤 め 人	7,956	34.5%
自 家 営 業	1,212	5.2
主 婦	3,280	14.2
無 職	8,570	37.1
学 生 ・ 生 徒	2,076	9.0
小 計	23,094	100.0
児 童	31,742	—
合 計	54,836	—

〔表7〕 館外個人貸出利用図書冊数

分 類 別	冊 数	構 成 比
総 記	1,524	3.1%
哲 学 宗 教	2,412	4.9
歴 史 地 理	4,818	9.8
社 会 科 学	7,884	16.1
自 然 科 学	4,442	9.1
工 学 工 業	4,005	8.2
産 業	1,982	4.0
芸 術	6,145	12.6
語 学	787	1.6
文 学	11,446	23.4
郷 土	2,381	4.9
雑 誌	1,128	2.3
小 計	48,954	100.0
児 童	102,730	—
合 計	151,684	—